

# 凡事徹底 野間中だより



平成27年1月23日  
第203号  
野間中学校

## 「地域に役立つ人になろう！」 山本 憲司

1月19日（月）に行われた生徒朝会にて、本校校務主任山本憲司先生が講話を行いました。



皆さんの地域にも消防団がありますね。もちろん、私の地域にも消防団があります。若い頃、私は消防団に所属していました。常滑市消防団第1分団1班です。消防団では、心肺蘇生法や水難訓練、また、消火訓練、さらには、敬礼の仕方や整列の仕方などの儀礼訓練も行いました。

青山駅の近くに佐鳴（さなる）学院という学習塾があります。知っていますか。以前青山中学校に野球の試合に行った際、青山駅で生徒を出迎え、青山中学校までの道のりを確認し、私も、青山中学校へ向かう際、その交差点で、オートバイと車が事故を起こしました。私は、車を路肩に止め、事故現場に向かいました、何人かの人がよってきていましたが、みんな何をしたいかわからず困っていました。とっさに、私は、「救急車を呼んで下さい。」と叫びながら、道路に飛び出し、事故現場に向かってくる車を止めました。道路の真ん中に倒れているオートバイの男性に駆け寄ると、足首が本来の方向と違う方向に曲がっていました。消防団での訓練では、傷病者を発見したら、傷病者の状態、周りの状況の確認ということを学んでいました。その後、倒れている男性に話しかけ、意識があることを確認し、痛い場所を確認し、脈拍を確認しました。また、当時佐鳴学院は、建設中だったため、そこから、人が運べるほどの板を持ってきて、担架にし、歩道へ何人かの人で運びました。傷病者のそばに人を残し、倒れているオートバイを路肩に寄せる指示をして、車に近寄りました。ドライバーは額から血を流していましたが、意識もあったため、車の移動をお願いしました。しかし、事故を起こしたショックからか、普段は運転しているのに操作ができず、ひたすら謝っていました。これはまずいと判断し、近くにいる人をお願いをし、車を移動させました。その後道路は通常の機能を果たしました。救急車が到着したため、事故の状況、けが人の状況を報告しました。「ドライバーは額から出血、意識はあるが動揺している。オートバイの男性は、足首が折れている模様、ライダーズスーツのため、出血は確認できず、脈拍は、1分間に〇〇、意識はある、頭部はヘルメットで守られた模様、首への影響は軽傷と考えられる。」それだけ伝え、青山中学校に向かいました。もし、消防団で学んだこと、体得したことがなかったら、きっと何もできなかったのではないのでしょうか。

20年前の1月17日は阪神淡路大震災でした。負傷者を含め、たくさんの方が犠牲となりました。4年前は、東北地震、いつ来るかわからない東海・東南海地震、訓練はとても大切です。そんなとき、中学生は一人の大人として役割を担うと思います。ぜひ、地域に役立つ人になってほしいと思います。



消防団の訓練の様子



常滑市坂井地区の祭礼 楯方に指示をおくる山本先生

山本先生は平成5年からの10年間、河和中学校に勤務していました。そして今年度野間中に赴任し、美浜町では2回目の勤務となりました。山本先生は常滑市坂井の出身で消防団だけでなく、祭礼では楯方（かじかた）への指示・責任者をつとめるなど、まさに地元地域で活躍している先生です。

## あいさつ運動

1月19日朝、あいさつ運動を行いました。前号で紹介した「のぼり旗」とともに生徒会役員を中心に行いました。

北風が強く、寒い朝でしたが、僕たちより先にあいさつをしてくれる人がだんだん増えてきた気がします。のぼり旗は遠くからもみえるので、みんなが「今日はあいさつ運動か！」と前もって気づいてくれたせいもあると思います。

自分からあいさつ！を今後も推進していこうと思います。

生徒会役員一同





